



原町小だより「はらまち」

川口市立原町小学校
全校児童数399名

「なかよく」「かしこく」「たくましく」

HPアドレス <https://haramachi-kawaguchi.edumap.jp/>

「GIGAスクール構想」

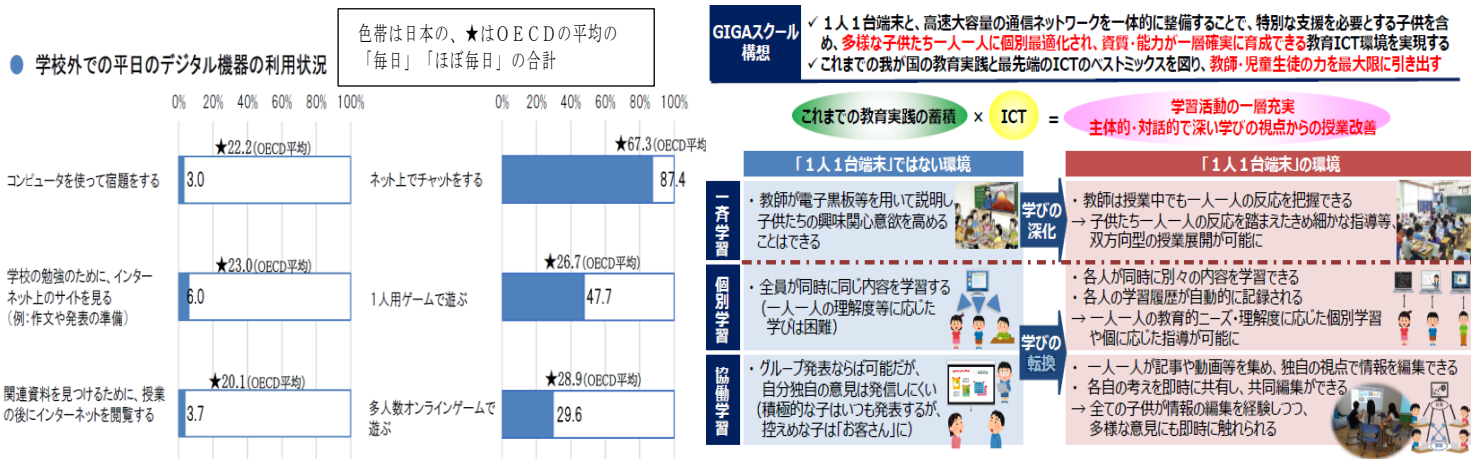
校長 加田 明

寒さが身に染みる季節となりました。冷たい風に頬を赤らめながらも、元気に遊ぶ子供たちの姿にたくましさを感じています。日頃から保護者の皆様、地域の皆様の学校に対する温かいご理解、ご協力、ご支援により、子供たちは元気に学校生活を送っております。

今、学校では来年度より実施される「GIGA スクール構想」の準備が着々と進んでいます。1人1台のPC 端末環境が整い、ICT を活用した授業が本格的に始まります。

今や、職場でも家庭でも、社会のあらゆる場所で ICT の活用が日常のものとなっています。Society 5.0 時代に生きる子供たちにとって、PC 端末は鉛筆やノートと同様の文房具として使用されます。

2018 年、世界の 15 歳を対象に行った PISA 調査によると、「PC を使って学習をする生徒」は、20%を超える OECD 平均を日本の生徒は大きく下回っているのに対して、「ネットでチャットをしたりゲームをする生徒」は OECD 平均を上回っており、日本の生徒はデジタル機器の用途が遊びに偏る傾向が示されました。



また、学習到達度調査 (PISA) では、日本の読解力の低下が話題となりました。PISA の求める読解力は単に文章を正確に読み取るだけでなく、根拠を示して考えを述べる力、社会で通用する読解力です。設問は多様な形式のデジタルテキスト (ウェブサイト、投稿文、電子メールなど) を活用。複数のネット上の情報を読み比べたり、事実か意見かを見定めたりする能力などを問うものでした。

「モアイ像で知られるイースター島では、像の運搬に木材を使用したはずだが、森はその後すっかり消失した。それはネズミによる食害か、それとも住民が乱伐したせいかな?」

島の森林消失の理由を論じた資料を並べ、どの説が正しいか論拠を書かせる問題が出されました。

正解は「食害か乱伐かのどちらかだろう」と思いきや、「両説とも事実と判断するには不十分である」とのこと。今までで出会うことのなかった出題に調査に参加した生徒は戸惑ったようです。

このような状況下において、社会を生き抜く力を育み、子供たちの可能性を広げる場所である学校が、時代に取り残され、世界からも遅れたままではいられません。文科省ははじめ 2019 年 12 月に GIGA スクール構想を発表し、2023 年度までの実現を目指すとしていました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大によってオンライン授業の環境を急いで整える必要が出てきたため、目標を 2020 年度に前倒しすることを決めました。

日本の授業はこれまで教師が子供に一斉に授ける性格が強いものでした。しかし、一人一台の PC を自由に使うことができるようになれば、子供たちは自分の関心に従ってネットで調べ、思考を深められます。教室での一斉授業が苦手な子が、自分のペースで無理なく学習できる利点もあります。子供ごとに苦手な点などのデータを蓄積し、自動的に課題を出せる、学びの「個別最適化」も期待されています。

多様な子供たちを誰一人取り残すことのない公正に個別最適化された学びや創造性を育む学びにも寄与するものであり、特別な支援が必要な子供たちの可能性も大きく広げるものです。

また、「協同学習」において、ノートに書いた考えを発表する場合、発表用ボードにまとめ、黒板に貼りだす代わりに、端末でノートを撮影し、全員に配信することで時間の短縮が図られ、話し合いの時間を充分に確保することができます。手を挙げて発言しなくても、画面上で考えを共有することもできます。

1人1台のPC 端末環境は、これからの時代における学校の「スタンダード」になります。

ICT の活用によりすべての子供たちの学びを保障できる環境が実現できることを期待したいと思います。